「世界のコラーゲンペプチド＆ゼラチン市場2022年－2031年：製品タイプ別（コラーゲンペプチド、ゼラチン）、ソース別（牛、豚、家禽）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年10月5日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界のコラーゲンペプチド＆ゼラチン市場2022年－2031年：製品タイプ別（コラーゲンペプチド、ゼラチン）、ソース別（牛、豚、家禽、海産物、その他）」調査資料の販売を2022年10月5日
に開始いたしました。コラーゲンペプチド＆ゼラチン市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界のコラーゲンペプチド＆ゼラチン市場2022年－2031年：製品タイプ別 （コラーゲンペプチド、ゼラチン）、ソース別（牛、豚、家禽、海産物、その他）
■英文タイトル：Collagen Peptide & Gelatin Market （Product Type: Collagen Peptide and Gelatin; Source: Bovine, Porcine, Poultry, Marine, and Others） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年9月26日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
タンパク質であるコラーゲンは、食品、生物医学、スキンケアなど様々な分野で使用されていま

す。コラーゲンの様々な有益な特性は、他の天然ポリマーやその合成品と比較して、潜在的なバイオマテリアルとしての利用を支えています。コラーゲンは、高い生体適合性、生分解性、低い抗原性などの生物学的特性により、非常に好まれるバイオマテリアルです。体内の全タンパク質の約30%がこのタンパク質でできており、主に骨、靭帯、腱などに存在する。このコラーゲンペプチドは、加水分解コラーゲンとも呼ばれます。コラーゲンの主な供給源は牛、豚、魚で、マイナーな供給源としては鶏、馬、ネズミの尻尾、カイコ、羊などがあります。ゼラチンは、ゲル化、水結合、発泡、弾性、結合、乳化、フィルム形成、粘性などの特性により、多機能成分としても知られ、製品に食感や安定性を与えています。需要が増加しているため、いくつかの企業がこれらの製品に注力しています。これが、ゼラチン市場やコラーゲンペプチド市場を活性化させています。

健康やライフスタイルへの関心の高まりにより、コラーゲンペプチドや加水分解ゼラチンなどの栄養補助食品への需要が高まっています。人々は、加齢に伴う病気を予防し、生活の質を高めるために、機能性食品や栄養補助食品を選ぶようになっています。栄養補助食品の用途は、入手しやすさ、手頃な価格、認知度などの要因で増加しています。老人人口やスポーツ選手は、タンパク質やその他の必須サプリメントを豊富に含んでいる栄養補助食品を利用しています。欧州栄養補助食品協会（ENA）は、中国、インド、ブラジルなどの発展途上国における死亡の38.6%は栄養不良が原因であると推定しています。したがって、栄養不足は、人々の社会経済階級ではなく、食べるものの種類によって引き起こされます。加齢に伴う健康問題の増加、経済成長、健康意識の高まり、老人人口の急増、ライフスタイルの変化などが、栄養補助食品の需要を高めています。

コラーゲンベースのドラッグデリバリー製品は、コラーゲンスポンジ、シールド、リポソーム、マイクロスフェア、ナノ粒子など、さまざまな疾患領域で使用されています。リポソームとナノ粒子は、持続的な放出を可能にする新しいタイプのコラーゲンベースのドラッグデリバリーシステムです。コラーゲンはまた、酸性胃液中での崩壊から医薬品有効成分（API）を保護するためのカプセル化にも広く使用されています。
リポソームは、親水性および親油性薬物の両方をカプセル化し、分解から保護することができるため、優れたキャリアです。さらに、吸収率を向上させ、効率的な可溶化マトリックスとして機能することができ、リポソームゲル製剤は従来の製剤よりも優れており、その結果、患者のコンプライアンスと有効性を高めることができます。これらの利点は、コラーゲンベースのリポソーム薬物送達システムの受け入れ拡大につながり、ひいてはコラーゲン市場を牽引しています。他の合成ポリマーと比較して、タンパク質ベースのナノキャリア（コラーゲン、エラスチン、フィブロネクチンなど）は、低毒性、免疫原性の欠如、高い安定性、高い栄養価により有利であることが示されています。コラーゲンナノ粒子は、高い吸着能力と水への高い分散能力を有しており、様々な薬物の高い徐放性を実現することができます。

製品タイプ別に見ると、世界のコラーゲンペプチド＆ゼラチン市場は、コラーゲンペプチド＆ゼラチンに二分されます。ゼラチンは、ゲル化、水結合、発泡、弾性、結合、乳化、フィルム形成、粘性などの特性から多機能成分として知られており、様々な製品に利用されています。ゼラチンは、関節炎や関節痛など健康に関連する問題の治療への利用が大幅に増加しており、皮膚や髪の問題の治療にも役立っており、さらに、創傷治癒市場や空カプセル市場に対応する製品の製造工程でも広く使用されています。

コラーゲンペプチド＆ゼラチンの世界市場は、供給源に基づいて、牛、豚、家禽、海洋、その他に分類されます。2021年の世界市場は、牛セグメントが支配的でした。このセグメントは、骨粗鬆症、変形性関節症、さらには皮膚関連疾患の治療における牛ベースのコラーゲンの需要の増加が原動力となっています。

食品加工プロセスにおけるゲルチンの重要な利用が食品・飲料セグメントを牽引

コラーゲンペプチド＆ゼラチンの世界市場は、用途別に医薬品、食品・飲料、化粧品、栄養補助食品、その他に分類されています。2021年の世界市場は、食品・飲料セグメントが支配的でした。ゼラチンは、タンパク質の多い食事を作るために、食品製造工程でより多く使用されています。ゼラチンは、繊細な内容物を空気や微生物の繁殖から保護する能力があるため、カプセルやハードジェルの作成に有効な成分として使用されています。また、中性で様々な味と調和するため、様々な食品に使用されています。

予測期間中、北米が世界市場を支配すると予想されます。確立された医療インフラ、革新的な治療法の技術的進歩、有利な政府支援などが、世界市場における同地域の優位性に寄与しています。また、研究開発活動の活発化により、新しい製剤の開発が促進されることが予想されます。これにより、骨移植片や創傷修復製品など、コラーゲンベースの製品の導入が進み、結果として新規ドラッグデリバリーシステム市場の成長につながると予測されています。
ヨーロッパは、2021年の世界のコラーゲンペプチド＆ゼラチン市場で2番目に大きなシェアを占めています。同地域は、コラーゲンベースの製品の導入に注力する市場参加者に大きな機会を提供しています。欧州のコラーゲンペプチド＆ゼラチン市場の動向は、予測期間中の急成長を示しています。しかし、コラーゲンペプチド＆ゼラチン市場の分析を詳細に評価すると、コラーゲン生産能力を高めるために野菜などの外部代替品の脅威が高まり、コラーゲンベースの製品の品質に対する懸念が高まるなど、いくつかの課題に直面する可能性があることが明らかになりました。これらの要因により、欧州のコラーゲン市場は再調整される可能性が高いです。
アジア太平洋地域の発展途上国は、費用対効果の高いコラーゲンの生産と熟練労働者の利用可能性により、コラーゲンペプチド＆ゼラチン市場に有利な成長機会を提示すると予測されます。アジア太平洋地域における医薬品製造業の急速な成長、食品加工ユニットの増加、栄養補助食品に関する国民の意識の高まりが、同地域のコラーゲンペプチド製品の需要を促進しています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/collagen-peptide/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com